

## オーディオ実験室収載

### フェルトダンプ LAN 端子の効果(2)(HP 収載)

—ルーター—

#### 1. 始めに

前報(1)に引き続き、フェルトダンプ LAN 端子の効果を検討します。

#### 2. フェルトダンプ LAN 端子の試聴計画

今回は、ルーターを対象とします。その LAN ポートは 4 箇所ありますが、次のようにすべて使用されています。なお、この NEC 製 G 対応のルーターへの入力は、親ルーターからの WiFi 受信であり、ルーターのポートは UTP タイプです。ルーターは黒御影のラックの上に防振ゴムを敷いて設置するだけで本体への格別の防振対策は行っていません。

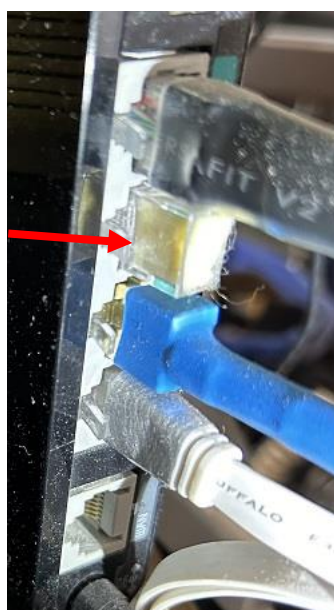
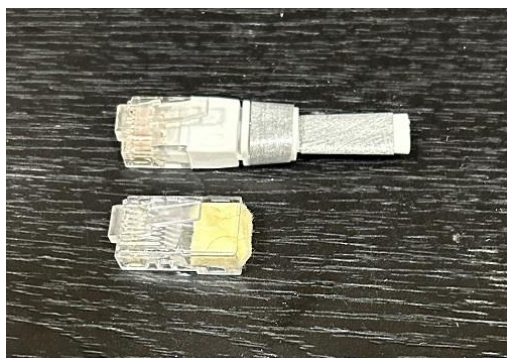
スイッチングハブへの出力 LAN リベラメンテケーブル(UTP)

自作仮想アース接続用 LAN アースケーブル(STP)

LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたもの(UTP)

LAN ケーブルを巻いて Pulshut を巻いたもの(UTP)

上記の LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたものと LAN ケーブルを巻いて Pulshut を巻いたものは、ノイズを低減する効果を狙ったものです。今回は LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたもの(写真上)をフェルトダンプ LAN 端子(写真下)に替えてみます。なお、前報(1)のスイッチングハブへのフェルトダンプ LAN 端子の装着は残しておきます。



以上の処置は、LAN ポートより LAN 端子に漏れ出してくるノイズ低減効果を狙ったものから、微振動抑制を狙ったものへの変更となります。

試聴する音源は次のとおりです。

#### STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

### 3. フェルトダンブ LAN 端子の試聴結果

始めに現状で聴いておき、フェルトダンブ LAN 端子に交換して聴き直していきました。

ベートーヴェンのピアノソナタは、劇的とは言えませんが、打鍵と余韻が明瞭になります。元に戻すと余計な響きが加わった感じがします。

バッハのクリスマスオラトリオは、合唱の濁りが後退し、ソリスト達の声のホール内の残響が明瞭になります。元に戻すと合唱の濁りがでできますし、ソリスト達の歌唱のライブ感が後退します。

シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」は、一音一音がくっきりとしてきます。元に戻すと音の滲みがでてくる感じがします。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、ヴァイオリンの音は鮮明になり、元に戻すと音の滲みがでてくる感じがします。

以上から、どうやらフェルトダンブ LAN 端子の効果は、UTP 仕様の LAN ポートに空きがある場合に有効なようです。

一方、振動対策がしっかりなされている LAN 機器であって LAN ポートが STP 仕様で、すべて塞がっている場合は、LAN 端子がポートの両サイドの板ばねに密着しており、フェルトダンブ LAN 端子の効果は見られないということになります。

今回の結果を受けてフェルトダンブ LAN 端子を装着したまま、しばらく聴いていきます。

### 4. まとめ

LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたものをフェルトダンブ LAN 端子に替えて

みたところ、顕著な変化とは言えませんが、確実に音質の改善を感じ取ることができました。

以上